

みんなでご飯作るよ～

松組 3月

保育目標：入学への期待や成長の喜びを感じながら、
自信を持って生活する

去年の春に植えた米を秋に収穫し、いよいよご飯を炊く日がきました。準備をしていると「ご飯を作るって」「一緒にしよう」等と仲間を集め、始まる頃にはか全員が集合していました。

・・・米を研いでいきます・・・



水入れて
きたよ～



これを7、8回すると
きれいになるからね！

水が冷たいよ～
もう、だめだ～



水がきれいになっ
てきたね



・・・火を着けて炊いていきます・・・



この燃料に
火を着けるんでしょ



これに米を入れて
こっちの道具の上
にのせるの～



まだかなあ～
早くたべたいなあ

・・・いただきま～す・・・



あつあつで
おいしいね～

おかわりも
食べたいよ～



どの場面でも友達と一緒に
おり、色々な経験の中で教え
合い、助け合い、笑い合い、そ
して時にはケンカもしなが
ら、絆が育まれていたよう
です。これからは小学生になり、
相手の気持ちも、もっとも
とわかるようになり、きっと
良い関係を築いていってくれる
ことでしょう。

3月に入り、松組へ進級する気持ちが高まっている子ども達！「もうすぐ松組だ！」「楽しみだね」と嬉しそうに教えてくれています。

たくさんたべ



松組のおわかれ会があり、みんなで作った招待状を渡しました！字を書いたり、折り紙を折ったりと自分達で感謝の気持ちを込めて作りました



おわかれ会はじまりの挨拶を頑張りました！



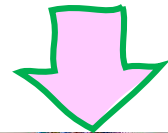
たくさんあそび



友達と一緒に楽しい遊びを発見しています！



小さい子のお世話もたくさんしてくれています。



いろいろな作品が日々うまれています！自分達でイメージして作ることが得意な子ども達です。



保育目標：進級を楽しみにして、意欲的に遊ぶ



外遊び気持ちいいね

暖かい日が続き、園庭で元気いっぱい遊んでいます。ボール遊びやくるくるポールで体を動かして遊んだり、三輪車やブランコで遊んだり、自分が好きな遊びを思う存分楽しんでいる子どもたちです😊



やっほー！



たかーい ✨

おにぎり
作ったよ 🍙



砂遊びではごっこ遊びが盛り上がっています。ごちそうを作って、お店屋さんごっこを楽しんでいる子どもたち。店員さんやお客さんになりきって、「ラーメンいかがですか〜？」「一つください！」などのやり取りも多く見られます。ごっこ遊びを通して友達と会話を楽しんでいます🎵

ラーメンどうぞ😊

チャーハンの
完成！



保育目標:大きくなったことを喜び、身の周りの始末を自分から進んで行う。

「どうやるの?」「こうやって…できたあ!!」



チャック、とめれるよ!



園庭に遊びに行く準備も自分でしています!



帽子かぶって 行ってくるね

ここに手を入れて…

重いけど あとちょっと



どうやって?



自分でタオル畳めた!

こうするんだよ!



自分で出来ることが増えてきて「できた!」と喜びながら、意欲的に身の周りのことをしています。できなくて困っている子がいると、そっと友達に手を貸してくれました。





♡ 松組さん ありがとう

松組さんが一緒に遊んでくれるようになって親しみをもち、お兄さんお姉さんが大好きになりました。名前も覚えて「〇〇くんのところに行きたい」「〇〇ちゃんと食べたい」と関わることを楽しんでいます。

見て見て～
一緒に見つけたよ！



♡ 体動かすの 大好き



ここまで
できた！

ゆっくり・・・
ゆっくり・・・

お姉ちゃんも
一緒♪



暖かい日が増えてきて、外に行きたい！と元気に繰り出していく子ども達。年上の友達から刺激を受け、少し難しい遊具にもやってみようと意欲的です。

「お友達と一緒に楽しいね♪」

お友達への興味が強くなってきたひよこ組。お友達がしている遊びが気になり、そばで同じ遊び
を楽しんだり、一緒に遊びに混ざってみたりする姿が多く見られるようになりました。

電車ごっこ



一緒に入ると楽しさ倍増！

同じ遊びやってみよう！嬉しいな



ある日の遊戯室にて・・・



曲に合わせて踊っている姿を
見て、徐々にステージに集まり、
みんなで踊りを楽しむ姿
が何度も見られました。



友達の遊びを見て“面白そうだな”から“一緒にや
ってみたい！”へと気持ちが動き、やってみて“楽
しい♪”と、お友達と楽しさを共有する喜びを感じ
ている姿を、たくさん見ることができました。子ど
も達の世界が少しずつ広がっている一人一人の成
長を身近に感じ、嬉しい瞬間でした。

また、ある日ぬいぐるみが
倒れるのがおかしくて保育
教諭と笑っていると、その
楽しそうな笑い声に徐々に
集まってきて、みんなで楽
しさを共有して笑顔の輪が
生まれていました。

